



栃木県立那須拓陽高等学校

全
日
制



所在地 〒329-2712 那須塩原市下永田4丁目3-52
電話 0287-36-1225
FAX 0287-36-8027
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/nasutakuyo/nc2/>
創立 昭和20年
課程 全日制課程
設置学科 普通科・食品化学科・農業経営科・生物工学科・食物文化科
生徒数 707人(男子293名、女子414名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 JR西那須野駅から徒歩7分

I 学校の概要

本校は、普通科・農業系3学科・家庭系1学科からなる。校訓は、耕学一如、冷暖自知。先人の開拓魂を受け継いだ不屈・進取の気風の中で、一人ひとりの生徒が明るく伸び伸びと学校生活を送り、それぞれの科の特色を生かしながら「文武両道」を目指している。また部活動が非常に活発で、全校生の8割を超える生徒が部や同好会に加入している。

本校は昭和20年に県立那須農学校として設立され、6年後、那須農業高等学校と改名された。昭和63年に普通科が併設され、平成元年には、那須拓陽高等学校と改名、平成9年に家庭系学科の食物文化科が併設、現在の5学科の形となった。この間、地元の農業はもちろん、様々な分野で活躍している多くの先輩方を送り出してきた。

教室棟は、第1校舎が食物文化科、第2校舎が普通科、第3校舎が農業系学科となっている。体育関係施設は、体育館が2棟、野球場・ソフトボール場・テニスコートからなる第1グラウンド、トラック・サッカー場のある第2グラウンドがある。また、本校の歩みを展示した歴史資料室が整備されている。

校舎の近くには大山農場、乃木農場があり農業系学科の生徒が実習を中心とした学習に励んでいる。大山農場には県の文化財指定を受けた大山記念館があり、近くにビオトープ（全国学校園庭・ビオトープコンクール2017環境 大臣賞受賞）もあり、多くの見学者が訪れている。



1 学校教育目標

地域振興と開拓精神の建学理念に基づき、自らの力で人生を拓き、広く社会に貢献する有為な人間の育成を使命として、本校では教育目標を次のとおり定めている。

- 「自律」…使命を自覚し、責任を重んじる生徒の育成
- 「創造」…個性を伸長し、創造的な前進をする生徒の育成
- 「奉仕」…生命を尊重し、人類社会に奉仕する生徒の育成

2 目指す学校像

- 「調和と共生」…広い視野を身に付けるため、5学科の特性を生かしつつお互いに連携を図る学校
- 「文武両道」…学習および特別活動においてすべての生徒が活躍する場を提供し、活力を引き出す学校
- 「地域人材の育成」…地域との交流活動や連携を積極的に図ることで地域を理解し、将来地域社会に貢献できる人材を育成する学校
- 「キャリア教育の充実」…学科の特性と生徒の個性を生かし、個々の生徒に適した進路を実現する学校

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育目標と目指す学校像および志望する学科の特性をよく理解し、入学後も意欲的に学校生活を送ることができ、次の(1)(2)のいずれかまたは全てに該当する生徒

- (1) 明確な目的意識をもって学習に取り組み、将来の進路希望の実現に向けて粘り強く努力する生徒
- (2) 部活動、生徒会活動、地域交流活動などに積極的に取り組み、自己を高めようとする向上心をもっている生徒

Ⅱ 学科の特徴

普通科：1年から数学・英語で習熟度学習を実施。また2年からは文系・理系に分かれての授業を展開。
3年では他学科提供の選択科目を履修可能。生徒それぞれが自分の適性に合った学習が出来ます。

農業経営科：作物・畜産・野菜・果樹および農業経営に関する知識を、農場での実習を通して学びます。
北海道酪農実習に参加する生徒が多数います。

生物工学科：野菜・草花の施設園芸や果樹生産およびバイオテクノロジーに関する基礎的・基本的な知識・技能を実験・実習を交えて学びます。また、初級バイオ技術者認定試験にチャレンジします。

食品化学科：食品製造・食品化学・微生物利用・食品流通などの専門科目を学びます。パン・味噌・ジャム・ベーコン・牛乳等の農畜産物の製造実習や食品分析・微生物に関する実験を行います。

食物文化科：食生活を総合的に学習し、食文化を伝え、創造するとともに、食生活関連産業で活躍するための専門的な知識や技術を学びます。

資格取得

漢字能力検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定、ビジネス文書実務検定に取り組むほか、農業系学科では農業技術検定・危険物取扱者、食物文化科では食物調理技術検定・被服製作技術検定・保育技術検定にも取り組んでいます。

Ⅲ 卒業後の進路状況（令和2年度卒業生の実績）

学科名	進 学						就 職			その他
	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	各種専門学校	その他	公務員	県内	県外	
普通科	8	38	5	3	13	0	1	7	0	1
農業経営科	1	6	0	0	12	6	1	12	2	0
生物工学科	1	7	0	1	12	0	2	15	1	1
食品化学科	0	3	0	1	21	1	0	13	1	0
食物文化科	0	6	0	8	12	1	0	10	0	0
合 計	10	60	5	13	70	8	4	57	4	2

◆過去3カ年の主な進学・就職先

〔国公立大学〕

帯広畜産大学、北海道教育大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、宇都宮大学、新潟大学、上越教育大学、鹿屋体育大学、釧路公立大学、秋田県立大学、都留文科大学、公立小松大学、名桜大学 等

〔私立大学〕

亜細亜大学、桜美林大学、神奈川大学、鎌倉女子大学、國學院大学、国際医療福祉大学、駒澤大学、作新学院大学、淑徳大学、順天堂大学、城西大学、駿河台大学、仙台大学、大東文化大学、拓殖大学、千葉商科大学、帝京大学、東海大学、東京農業大学、東洋大学、日本女子体育大学、日本大学、白鷗大学、明治大学、酪農学園大学、立正大学 等

〔短期大学〕

山形県立米沢女子短期大学、静岡県立短期大学、宇都宮短期大学、宇都宮文星短期大学、作新学院大学女子短期大学、佐野日本大学短期大学 等

〔各種専門学校〕

栃木県立衛生福祉大学校、栃木県農業大学校、I F C栄養専門学校、宇都宮ビジネス電子専門学校、大原学園宇都宮校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、国際テクニカル調理製菓専門学校、国際ファッションビューティ専門学校、済生会宇都宮病院看護専門学校、栃木医療センター附属看護学校、白河厚生総合病院附属高等看護学院 等

〔就職先〕

那須野農業協同組合、J U K I (株)、大阪シーリング印刷(株)、櫻護謨(株)、白河オリンパス(株)、全葉工業(株)、田淵電子工業(株)、東京計器(株)、東レ(株)、日本ケンブリッジフィルター(株)、富士電機制御(株)、持田製薬工場(株)、三報社印刷(株)、(株)資生堂、(株)伸光製作所、自衛隊、塩谷広域消防組合、栃木県警察本部、栃木県技術員、那珂川町役場矢板市職員、那須塩原市職員、那須地区消防組合 等

Ⅳ 特別活動等の状況

1 部活動一覧と活動状況

〈運動部〉 陸上競技・ソフトテニス・ソフトボール・硬式野球・サッカー

バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球・弓道・剣道・柔道

〈文化部〉 牛部・疏水太鼓・吹奏楽・演劇・書道・茶華道・美術・漫画・写真

〈同好会〉 ボランティア・フラワーデザイン・調理研究・文芸・コンピュータ・食品化学・SoyProject

顕著な成績としては、運動部で陸上競技部が毎年多くの生徒を関東大会へ送り出している。また、全国高校駅伝では男女共に常連校である。ソフトテニス部は、女子個人で関東大会へ出場しており、過去にはインターハイ出場経験もある。ソフトボール部も関東大会出場、その他の運動部も県北大会優勝などの実績を収めている。

文化部も盛んで、牛部は、乳牛の美しさを競う共進会で県ジュニアチャンピオンや未經産名誉賞受賞、全国大会でも学校ジュニアチャンピオンや1等を受賞するなど、近年めざましい活躍を見せている。疏水太鼓部は、過去に高文連郷土芸能部門で全国大会の経験もあり、地域の様々なイベントでの演奏で好評を博している。また、吹奏楽部は、定期演奏会を毎年開催している。その他にも、書道部が全国書道展で朝日新聞宇都宮総局長賞を受賞、演劇部も県北地区演劇研究大会で最優秀賞を受賞した。

2 特色ある学校行事について

農業系学科のある本校では、春の「田植え」を1年生全員が学科を越え行っている。実りの秋には育てたお米や野菜、牛を使用しての「収穫祭」は拓陽高校ならではの学校行事といえる。また、生徒会行事の主なものとして、1学期には「校内クラス対抗スポーツ大会」が、2学期には「学校祭」と「体育祭」が隔年で行われ、生徒が自主的に企画運営しながら趣向を凝らした活動をしている。その他の特色ある行事では農業クラブや家庭クラブの活動も盛んで、地域活動や奉仕活動などを積極的に行っている。生徒はこのような活動を通して友情を培ったり、協調性や社会性を身につけたりしている。

○これまでに取り組んだ活動の一例



田植え体験学習



テーブルマナー研修



ソイ・プロジェクトによる豆腐製造・販売

〈農業クラブ〉

- ・栃木県農業クラブ連盟各種発表大会・各種ホルスタイン共進会・農業高校枝肉勉強会・全国和牛甲子園プロジェクト活動における商品開発（拓陽キスミル）・自然再生活動（ビオトープ生物多様性環境創造）・地域貢献活動SoyProject（大豆100粒運動による大豆普及）の実施。「那拓高からの贈り物」のブランド名で果樹・野菜・草花の生産物を販売、果樹園を開放して市民にウメ狩り体験を実施、地元酒造メーカーとの連携、地域イベントへの参加、ボランティア活動を実施

〈家庭クラブ〉

- ・姉妹都市交流から生まれたスイーツ「りんく」「トマリン」の開発、地産地消弁当のメニュー開発、きのこ料理・牛乳料理等各種料理コンクールへの応募、テーブルマナー研修の実施、アイラブマイファミリー事業（保護者招待）の実施、食育活動（保育園訪問）の実施、地域貢献活動SoyProject（大豆100粒運動による大豆普及）の実施、大山記念館F Cカフェ定期開催、校内スイーツコンクール開催、地域イベントへの参加、ボランティア活動を実施

Ⅴ 特色選抜について

1 特色選抜の定員の割合

普通科 30%程度 農業経営科 30%程度 生物工学科 30%程度 食品化学科 30%程度
食物文化科 30%程度

2 特色選抜に出願するための資格要件

中学生として身に付けるべき基本的な生活習慣と本校での学習に適応できる確かな学力を備えていることに加え、志願する科の特性を十分理解した上で、それぞれの科ごとに（１）（２）のいずれかまたは全てに該当する者

【普通科】

- (1) 普通科の学習に適応できる確かな学力を有し、4年制大学をはじめとする上級学校への進学を目指して、入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者

【農業経営科】

- (1) 農業または農業経営に対して興味・関心を示し、将来、農業後継者になることや農業関係分野の仕事に従事すること、または、農業関係大学に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者

【生物工学科】

- (1) バイオテクノロジーや農業（園芸）に対して興味・関心を示し、将来、農業後継者になることや農業（園芸）関係分野の仕事に従事すること、または、農業関係大学に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者

【食品化学科】

- (1) 食品製造・食品化学に対して興味・関心を示し、将来、食品関係の仕事に従事すること、または、食品関連分野に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者

【食物文化科】

- (1) 食物・栄養・調理に対して興味・関心を示し、将来、食や調理関係の仕事に従事すること、または、食物・栄養・調理分野に進学することを希望し、入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績または優れた能力を有し、入学後もそれらに係る本校での部活動や生徒会活動に継続して取り組む意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	【普通科】 個人面接 時間10分程度 【その他の学科】 個人面接 時間10分程度（学科に関する口頭試問を含む）
作 文	時間40分 字数400字程度

4 その他、特記事項

なし

5 特色選抜における選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものについて段階評価を行う。
- 4 面接及び作文について段階評価を行う。
- 5 調査書の行動の記録について段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮し総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2または3に特に優秀な評価を持ち、【資料の取扱い】の2～5のそれ以外の評価が優秀または良好な者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。